

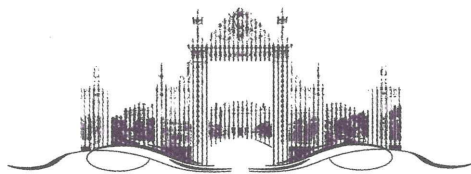


Rotary International
SERVICE Above Self

超我の奉仕

2005～2006年度

国際ロータリーテーマ:カール・ヴィルヘルム・ステンハマー会長



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

東京赤坂ロータリークラブ

No.913 / 2006.6.23

例会 / 毎週金曜日12:30

例会場 / 東京全日空ホテル Tel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「全員参加で実行しよう」

2005～2006年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ / 小杉修造会長

●本日の例会 / 2006年6月23日第935回例会

2005～2006年度最終例会・新会員歓迎会・打ち上げ会
(18:00～20:20)

◎夜間例会

「退任のご挨拶」

会長 小杉修造君
副会長 土屋東一君
幹事 福島賢哉君

◎新会員歓迎会及び打ち上げ会

新会員 藤井敬一君
長谷川尊一君
飯島規之君
伊藤文武君
仁木洋子君
鶴間喜久男君

◎室内弦楽四重奏

(会場 ステージ Y2)

「退任の挨拶」

会長 小杉修造

全員参加に感謝

この一年間、皆様にはご協力を頂き有難うございました。特に幹事を引き受けてくださった福島賢哉さんには至らぬ私を一年間に亘ってサポートして下さい感謝の極みです。

副会長の土屋東一さんを始め理事・役員みなさんにもお力を頂きました。「全員参加で行動しよう」というクラブ標語の一方で「会員増強と例会の充実」を目標にスタートしました。会員増強委員長の大日方真さんには強力なパワーの下、10名以上の新会員の入会にご尽力下さり有難うございました。プログラム委員長荒木昭文さんは多彩な卓話者を紹介して、例会の充実にご協力下さいました。本年度は三つの大きな出来事が上げられます。

①クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) の導入。私どもの中小クラブには適したプロジェクトだと思います。②懸案であった赤坂RCに名称変更がされた事。2月24日に記念例会が行われ、地区ガバナー市川伊佐夫氏を始め地区役員、鈴鹿グループ幹事、南クラブ星野欣也会長、麻布クラブ清原元輔会長さんなどを招いて行われました。③12月1日、加山雄三トーク&ライブ この親睦家族会は会員全員の協力を得て大成功に終わることが出来ました。会員一人ひとりの勢いが、後半のクラブ運営に役立った事と思います。

また、CWニコル氏の信州黒姫高原、アフンの森を散策して湯田中温泉に一泊旅行などこの一年は楽しい思い出に彩られています。何年か経つて振り返ってみて、私の年度の時にこういう事があったと、記憶の中に何かが残っておれば幸いです。チャーター会員の斉藤茂之、石坂二郎さんのおふたりが亡くなられた事は残念でなりません。両名のご冥福をお祈りする次第です。本年度は本当に有難うございました。

た。会員諸兄弟姉のご指導の賜物と感謝しております。ありがとうございました。

この1年の活動の中で特記すべきものとして、クラブ・リーダーシップ・プランとクラブ名称変更に関する事、そして忘年家族会と一泊の親睦旅行を挙げさせていただきます。CLPは、昨年5月の地区協議会のクラブ奉仕部会で初めて耳にしたことであり、これまでのクラブの組織形態との乖離にとまどいを感じた場面もありましたが、当クラブが率先してクラブ細則の改訂を行い次年度実施になり、他クラブの注目するところとなりました。またクラブ名称変更について、若干挿話を交えてみましょう。変更の経緯は皆さんご存じのとおりですが、バナー等は、竹本会員の創造力により、粋な江戸紫とお濠の波に浮かぶ迎賓館となり、知己の豊富な橋本会員の町人脈により、迎賓館に辿り着き、名称変更委員長入沢会員の説得力により、承認の取り付けに至るというものでして、まさに会員それぞれの努力の結晶でした。

忘年家族会については、申し上げるまでもない大盛会有り、当クラブに止まらず全国のロータリークラブの話題として、未永く語り継がれることだろうと思っているところ、また親睦旅行は、ロータリーのテーマとしての環境保全に適切に対応したアフンの森訪問で極めて有意義であったと感じているところ、親睦委員会及び社会奉仕委員会の委員長はじめ全メンバーに、心からの感謝を捧げます。

最後に、荒木会長はじめ次年度の執行部、役員の方々に、私の至らなかったところの埋め合わせを含めて、クラブ運営をよろしく願ひいたします。

「退任の挨拶」

幹事 福島賢哉

1年間ありがとうございました

45回目の今日、この夜間例会で今年度が終了になりました。幹事の大役を仰せつかり、どうにか1年間その任を果たすことができました。ひとえに、小杉修造会長、土屋東一副会長はじめアドバイザー委員会や理事、役員の方々に、各委員会や会員の皆さまの温かいご支援、ご協力、ご指導の賜物と心より感謝申し上げます。お陰さまで庄司泰典さんから預ったタスキを次年度石井謙次さんにお渡し出来ました。

小杉年度は『全員参加で実行しよう』をテーマに様々な活動が取り組まれました。

前年度より引き継いだ「名称変更」や「会員増強」は、この1月に「東京赤坂RC」に改称実現したこと、会員増強委員会の強力な旗振りでの初的女性会員を含めて純増3名が叶いました。このほかにも、忘年家族会が小杉会長の絶大なお力添えで「加山雄三」さんのライブショーが実現、430名もの参加で大盛会だったこと。また、CLPを採用し次年度から運用するなど、とても大きな行事がありました。どれをとっても標語のように会員同士の献身的な協力によって見事に成し得たことでした。新しい勢を感じる年度でした。

反面、クラブと長期欠席者との疎通を日常的にいかに密にするかの課題を残したことは、幹事役として力不足を反省しております。それぞれの場面でお役目を充分果たせた(裏面へ続く)

「退任の挨拶」

副会長 土屋東一

副会長としてのこの1年を恙なく過ごさせていただきました

のか、とても自信がありません。新南RCと赤坂RC、2つのクラブ名の幹事役を経験させていただきとても幸せでした。サポートしてくださった事務局の退職された山中さんや新任の松尾さんに助けられ何とか全うすることができました。素敵なピアノ演奏の泉さん、ホテルの藤さんには改めて御礼申し上げます。有難うございました。

◎卓話 イニシエーションスピーチ (2006年6月16日例会)

「私の仕事とボエム」



当クラブ会員
ファースト株式会社 代表取締役 飯島 規之

私は、1946年終戦の翌年、現在の茨城県玉造町で生まれました。生地は霞ヶ浦の水辺から100m位の所に在ります。小学校から高校までを霞ヶ浦周辺で過ごしました。

当時は海の水が出入りする希水湖であり、帆掛船が白魚漁やワカサギ漁をして、里山には日本春蘭が自生しているという素晴らしい自然環境にありました。

私が高校の時、昭和40年前後の日本の高度成長期と時を同じくして、霞ヶ浦の入口を堰によって止め、工業用水や都市圏への飲料水にするための水瓶化が決定しました。以来40年、海水の入らなくなった湖は、帆掛船が操業のできない湖に変化していきました。それは海水が入らないことによって水温が上がり、海風や陸風が吹かなくなったことも大きく影響し、湖水が汚れ、自浄能力も失ってしまったためです。現在の霞ヶ浦はといえば、コイヘルペスというウイルス汚染によって死んだ湖といえる状態になっています。

この高校生という多感な時期、逆水門反対運動を、環境問題をと身をもって経験しました。このとき学んだことは、「文章で表現しても、言葉で表現しても、こちらの意志はなかなか伝わらない。しかし、言葉で表現し、文章で残さなければ、胸の思い、ハートを届けることはできない。」ということでした。そして、優しさ、気遣い、思いやり、誠実、これらを一緒にして、こちらの気持ちをぶつけると相手もこちらへ近づいて来てくれました。

そういう運動の中で、「福祉という形で社会貢献をしなければいけない。」という気持ちが沸き起こりました。と同時に、「私はトップになる。社長になる。会社を創業して社会に貢献する。」と決めた時期でもありました。

その後大学へ進み、4年間は、「何をすれば会社といえるのか。」そんな思いのまま、車で日本一周を2度、貧乏旅行を実行し、実に楽しい大学時代を過ごしました。大学を卒業すると同時に、自分で仕事を始めましたが、それはアルバイトの延長のような感じでした。

今回の卓話に『私の仕事とボエム』という表題を付けましたが、それには、こんな理由があります。私には中学2年の時から幼馴染みと呼べるパートナーがおりました。私が「仕事とは何だろう」と言ったとき、そのパートナーの言った言葉は、「詩を書くこととどうする?ハートと気持ちと身体を別にしても見る!ハートはいろいろな所へ飛んで行く、お互いを独立したものと認めるもの。気持ちは身体の中に置いておくもの。身体は風を、光を、そして相手を感じるもの。つまり、優しさ、気遣い、思いやりをそのまま相手に、そして仕事にぶつけられ、それで仕事が完成するのではないだろうか。」ということでした。

パートナーに中2で詩を書くことを教えられ、大学を終わったときに仕事の心を教えられたような気がします。私は、以来半世紀近く詩を書くことを続けています。それは、ハートと気持ちを一緒にし、身体で言葉を届け、気持ちを、そしてハートを言葉にする。

私にとっての仕事の表現は顧客第一主義そのものでした。これからは、ベンチャーキャピタルの分野へも進出し、雇用であり、そして福祉の分野において社会に貢献をしていこうと思っています。

— ●先週報告 / 2006年6月16日第934回例会 —

- 幹事報告:**
- ①東京麻布RC例会変更のお知らせが届いております。6月14日(水)は夜間例会→通常例会へ、6月28日(水)は通常例会→夜間例会となります。
 - ②6月23日(金)夜間例会会費は、振込みまたは本日例会場にてお支払いくださいますようお願いいたします。
 - ③6月30日(金)は休会となります。次年度初例会は7月7日(金)となります。
 - ④6月22日にロースターが納品となりますので、6月23日(金)打ち上げ会にて、配布いたします。

次年度幹事報告:

- ①本日例会後、1Fかすみにて第1回常設委員会委員長会議を開催いたします。次年度各委員長はお集まり下さい。
- ②地区より「第8回ロータリー韓日親善会議ご参加へのお願い」届いております。日時は、9月8日(金)～9月9日(土)、会場はソウルにある「Grand Hyatt Seoul」となっております。
- ③7月4日(火)は、次年度最初の火曜会がございす。皆さんお誘い合わせてお出かけください。

親睦活動委員会:(西澤(民)委員長)

6月23日(金)の夜間例会(最終例会)・新会員歓迎会・打ち上げ会プログラムをボックスへ配布いたしましたので、よろしくご覧下さい。

出席委員会:(山川委員)

5月の出席率は、75.33%となりましたことをご報告いたします。

慶事披露:

誕生日祝 /
西澤民夫君(6月17日)



出席報告: 会員55名 / 出席33名・欠席22名 (出席規定免除者5名)



6月9日 / 9件19,000円 / 本年度累計1,197,000円
多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

荒木昭文 / 飯島さん、本日のイニシエーションスピーチ宜しくお願いします。入沢頼二 / 飯島さんのイニシエーションスピーチ楽しみにしております。清水さん、先日のすばらしいコンサート楽しませていただきました。田村昭二 / 飯島さん、イニシエーションスピーチ頑張ってください。清水さん、ニコニコご苦労様です。飯島規之 / スピーチが来ました。西澤民夫 / 1.飯島さん、イニシエーションスピーチよろしくお願いいたします。2.誕生日のお祝いありがとうございます。尾上寛 / 飯島さん、緊張してイニシエーションスピーチ頑張ってください。武下朗 / 清水さん、ニコニコご苦労様です。福島賢哉 / 清水さん、先日はすてきなコーラスを拝聴感激致しました。小林克彦 / お世話になりました。清水実 / 先週土曜日の私共の演奏会に多勢いらして下さい、有難うございました。

次週6月30日(金)は休会です。

●次回予告 / 2006年7月7日第936回例会

「就任のご挨拶」

2006～2007年度	会長	荒木昭文 君
2006～2007年度	副会長	吉田用親 君
2006～2007年度	幹事	石井謙次 君

本号で本年度クラブ会報委員会の活動は終了しました。1年間のご愛読、ご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。 クラブ会報委員会一同

東京赤坂ロータリークラブ / ●会長:小杉修造 副会長:土屋東一 幹事:福島賢哉 会報委員長:竹本孝三郎 今週の担当:大日方真

※旧名称:東京新南ロータリークラブ